



—令和5年6月9日（金）15:00～16:40 音楽・文化交流館 大ホール—

【実践発表】 郡山市立大槻小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～

IV 幼保小連携推進事業について

2. スタートカリキュラムの実践

【安心をつくる時間】

② 異学年交流

「人とつながる安心感」

- ・なかま
- ・先生
- ・学校のお兄ちゃんお姉ちゃん



2年生と一緒に1回目の学校探検



今年度、大槻小学校へは25か所の幼児教育施設から新入学児童が入学しました。同じ幼稚園から入学する子が多い中、1人～2人が入学する施設も多く、嬉しさ半面不安や緊張を抱えて入学する子もあり、安心して学校生活が送れるよう、スタートカリキュラムを基盤としたきめ細やかな取り組みを行っています。入学式翌日「さあ、今日から始まるよ。まず何をしたらいいのかな？」と先生が問いかけて生活の流れを丁寧に伝え、異学年や先生と交流を深めて信頼関係を構築していきました。上の写真は、校長先生が1学年の給食配膳を介助している様子です。

学習面は生活科を中心とした学習から教科の授業へと移行し、学習意欲に繋げています。実践事例として、国語や図工、算数等を総合的に組み合わせた、絵画制作の授業を紹介していただきました。好きな絵や顔を描いていくうちに、誕生表を作り展開した内容でした。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 大槻小学校の発表について

- ・発表してくださった先生は保育士経験があり、幼児の発達や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を正しく捉えており、入学児童に対する指導がとても素晴らしいです。
- ・実践発表の中で「1年生は何もできないわけではない。年長として園を引っ張ってきた子たちである。」という言葉が印象に残りました。自信をつけさせていく指導や支援が大切であると改めて感じました。
- ・学習や生活は自らが考えて行動できるように、環境を整えていくことが大事だと学びました。今後の保育に活かしていきたいと思います。

☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・入学後、子どもたちの学校生活を実際に参観することで、自身の保育も振り変えることができると思います。互いに連携して教育、保育の質を高めていくことが重要だと思います。

《参加者からのアンケートから》

- ・本協議会には、管理職や高学年の担任にもぜひ出席していただき、幅広い意見がいただけると良いと思いました。（小学校：参加者）
- ・入学してからどのように学校生活を送っているのか、私自身よく分かっておらず、保護者対応等戸惑っていましたので、研修に参加して大変参考になりました。（幼稚園：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。